

令和 8 年度
「運営に関する計画」
(中間評価)

大阪市立九条東小学校

令和 8 年 1 0 月

大阪市内九条東小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価(総括シート)

1 学校運営の中期目標

現状と課題

本校は、令和7年2月に創立150周年を迎えた歴史と伝統のある学校である。児童は、のびのびと学校生活を送り、日々落ち着いた環境の中で学習を行っている。しかしながら、特に令和に入った頃から、毎年児童数は激減しており、令和8年4月現在の児童数は30数名となっている。令和11年4月には近隣校との統合が決まっている。

少人数のため学年の子ども同士のかかわりが、どうしても少なくなることから、できるだけ多くの友だちと接する機会を作り、体育・図工などの教科やスポーツフェスタ(運動会)・音楽発表会、遠足等の行事について、隣接学年と合同で取り組むようにしている。さらに、令和4年度からは、学校全体の子ども達が、仲良く協力して活動できるように、異学年と交流する機会を増やすようにした。隣接学年や異学年との交流活動を活性化することで、互いの違いを認め合い、一人一人のよさを発揮・発見できる集団の育成を進めている。

また、教職員全員が、全ての学年の子ども達にかかわり、学校全体で、子どもを育てることができている。これらの取組により、子ども達は、日々安心して学校生活を送ることができている。

学力面については、日々きめ細やかな学習や帯タイムを活用した様々な取組を継続的に実践することで、基礎学力の定着が進んでいる。令和7年度の「全国学力・学習状況調査(6年)」は、全国平均を上回った。さらに「大阪市小学校学力経年調査(3～6年)」の国語科・算数科について、3年生の算数科は若干下回ったが、その他はすべて大阪市平均を上回っている。

体力面については、1年生時から体力テストに挑戦し、経年で記録の伸びがわかるようにし、児童が積極的に体力・運動能力の向上に取り組むようにしている。出前授業を積極的に取り入れたり、学年を超えて一緒に遊ぶ機会を設定し思い切り遊んだりすることで、体力の向上を目指している。令和6年度からは、放課後に希望者を募り「野球しようぜ」の取組を実施している。しかし運動をする場は設定しているものの経年調査の意識調査「運動やスポーツをすることは好きですか」の項目では、最も肯定的に回答した児童の割合は65.8%であった。これは大阪市平均より3.4ポイント低い結果であった。今後も児童が、運動が好き・楽しいと思える体育授業や運動の楽しさを味わわせる取組を模索していく。

教育環境の整備では、教職員の指導力・授業力の向上のために、毎年計画的に授業研究や研修を行っており、令和6年度から2年間、ICT機器を活用した指導方法について研究を行い、一定の成果が見られた。さらに教員の資質が向上するように、また効果的にICT機器を活用することができるように、今年度も研修などに取り組んでいく。

中期目標令和8年度（2026年度）～令和11年度（2029年度）

【安全・安心な教育の推進】

- 学校安心ルールをもとに生活指導を行い、毎年2回自分の言動について振り返りをさせ、ルールの徹底を図る。いじめ問題・不登校等の問題行動の未然防止・早期発見・迅速な対応に努める。様々なアンケートにおいて、「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を大阪市の目標（87％）以上にする。
- 小規模校の特性を活かし、異学年との交流を積極的に行い、互いの違いを認め合い、一人一人のよさが発揮できる集団の育成に努める。アンケート「自分にはよいところがありますか」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を大阪市の目標（88％）以上にする。
- きまりを守る・正しいことばづかいをする・あいさつをするなど、基本的な道徳心・社会性の育成を図る。校内児童アンケートにおいて、それぞれ90％以上をめざす。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 「全国学力・学習状況調査」「大阪市小学校学力経年調査」等の調査結果から、一人一人の子どもの状況を把握し、学力向上に向け個に応じたきめ細かな指導・支援の充実を図る。「全国学力・学習状況調査」「大阪市小学校学力経年調査」の国語・算数の平均正答率の対大阪市比を上回るようにする。
- 主体的に運動する習慣が身につくよう、体育の授業や放課後遊び等を工夫し、楽しく体力を高める場や機会を設定する。全国体力・運動能力、運動習慣等調査の体力合計点对全国比について、大阪市の目標（1.00）以上を目指す。

【学びを支える教育環境の充実】

- ICT機器を効果的に活用するための指導方法を研究・実践する。
- 小学校学力経年調査における「学習者用端末を活用して、調べた情報をもとに、課題を解決するために情報を収集・整理し、まとめ・表現する取組をしていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を大阪市の目標（80％）以上にする。
- 週1回「ゆとりの日」を設定し、教職員の働き方改革を推進する。
- 教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を月20時間以下とする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

- 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90.4%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を97.3%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.01ポイント向上させる。
- 小学校学力経年調査における、算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.01ポイント向上させる。
- 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- 小学校学力経年調査における「学習者用端末を活用して、調べた情報をもとに、課題を解決するために情報を収集・整理し、まとめ・表現する取組をしていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。
- 教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を月20時間以下とする。

大阪市立九条東小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】 ○ 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90.4%以上にする。 R8 校内前期 94% (R7 経年: 90.3%) ○ 小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を97.3%以上にする。 R8 校内前期 94% (R7 経年: 97.2%)	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容① 【(1) 安心・安全な教育環境の実現】 ○ いじめや暴力行為、不登校など、問題行動について未然防止・早期発見・迅速な対応に努める。 ○ 職員会議や児童理解全体会、生活指導委員会で話し合われた内容を共有し、日々の指導にあたる。 ○ 毎朝玄関に立ち、登校してくる児童の安全を確認する。 ○ 学校全体で子ども達が相談しやすい雰囲気を醸成する。	B
指標 ○ 令和8年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについての解消率100%を目指す。 R8 1学期 100% (R7 校内: 100%) ○ 「学校安心ルール」を活用し、年に2回(前期・後期)、自分の言動について振り返らせる。 ○ 「スクリーニングシート」を作成し、学期に1回以上スクリーニング会議を実施し、児童の小さな変化も教職員全体で共有する。また、区役所こどもサポートネットと協働して、スクリーニング会議Ⅱを実施する。 ○ 連絡なく欠席または遅刻している場合は、教員で連携して毎朝家庭に連絡をする。欠席や遅刻が続くような場合は、家庭訪問を行い、保護者の協力を得て児童の登校を促す。 ○ 校内児童アンケートにおいて、「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を87%以上にする。 R8 前期 94% (R7 校内: 97%) ○ 校内児童アンケートにおいて、「困ったときに、助けてくれる友達はいですか」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を90%以上にする。 R8 前期 100% (R7 校内: 100%) ○ 小学校学力経年調査や校内児童アンケートにおける「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか」に対して、肯定的に回答す	

<p>る児童の割合を80%以上にする。</p> <p>R8 経年 % (R7 経年：79.4%) R8 校内前期 97% 校内新設問</p>	
<p>取組内容②【(1) 安心・安全な教育環境の実現】</p> <p>○ 毎月の生活目標の周知を行い、きまりを守ろうとする意識を高める。</p> <p>○ 場に応じたあいさつや言葉づかいができる子を育てる。</p>	
<p>指標</p> <p>○ 校内児童アンケートにおいて、「学校のきまりを守っていますか」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を90%以上にする。</p> <p>R8 校内前期 100% (R7 校内：92%)</p> <p>○ 校内児童アンケートにおいて、『おはようございます』『さようなら』などのあいさつをすすんでしていますか」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を85%以上にする。</p> <p>R8 校内前期 97% (R7 校内：94%)</p> <p>○ 校内児童アンケートにおいて、「正しいことばづかいをするよう、こころがけていますか」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を85%以上にする。</p> <p>R8 校内前期 97% (R7 校内：93%)</p>	B
<p>取組内容③【(2) 豊かな心の育成】</p> <p>○ 学校行事やたてわり班活動、クラブ活動、委員会活動等の異学年交流や学級活動を通して、互いの違いを認め合い、一人一人のよさが発揮できる集団を育成する。</p> <p>○ 「いいところみつけ」を全校で年間を通して取り組む。</p> <p>○ インクルーシブ教育を推進する。</p>	
<p>指標</p> <p>○ 小規模校の特性を活かし、異学年との交流を工夫し毎週行う。(児童集会・たてわり班遊び・たてわり清掃・全校遊び等)</p> <p>○ 校内児童アンケートにおける「たてわり班や全校での活動は楽しいですか」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を90%以上にする</p> <p>R8 校内前期 100% (R7 校内：97%)</p> <p>○ 校内児童アンケートにおける「友達のいいところみつけができていますか」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を85%以上にする。</p> <p>R8 校内前期 97% (R7 校内：97%)</p> <p>○ 小学校学力経年調査における「自分にはよいところがあると思いますか」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を88%以上にする。</p> <p>R8 校内前期 94% (R7 経年：97.2%)</p> <p>○ 小学校学力経年調査における「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることができていますか」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を85%以上にする。</p> <p>R8 経年 % (R8 経年新設問)</p> <p>○ 合理的配慮の観点に基づく、個別の教育支援計画と個別の指導計画を作成、毎学期見直し、内容を保護者と共有する。</p>	B

<p>取組内容④【(2) 豊かな心の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 体験学習を通して、発達段階に応じたキャリア教育を実施し、好奇心や探求心、職業観を養う。 ○ キャリア教育の年間計画を立て、実施する。 	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 小学校学力経年調査における「キャリア教育を通して、自分の将来について考えることができましたか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。 R8 経年 % (R8 経年新設問) ○ 各学年が年間で1回以上ゲストティーチャーを招いた体験学習を行う。 ○ 「キャリア・パスポート」の年間計画を作成し活用する。 	B
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>取組内容①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員会議や児童理解全体会など、児童の様子について情報共有することで、いじめや暴力行為、不登校など、問題行動について未然防止・早期発見・迅速な対応に努めることができている。また、担任だけでなく、管理職や外部の関係諸機関と連携し、組織的に問題の対応にあたっている。 ・毎朝、複数人で玄関に立つことで、登校してくる児童の安全を見守ることができている。欠席児童に対しては、教員で連携して家庭連絡を行うことができている。欠席や遅刻が続くような場合は、家庭訪問を行い、保護者の協力を得て児童の登校を促すことができている。 ・たてわり班活動や隣接学年での活動など、教職員がどの児童にも関わりをもとうと意識しているため、児童が教職員に頼ったり、相談したりしやすい環境が整っている。また、保健室の戸を常時開けておくことで、児童がいつでも来室しやすい環境が整っている。 <p>取組内容②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童朝会で毎週生活目標の周知や、教室への掲示により、生活目標やきまりを意識することができるように取り組んでいる。校内アンケートでは肯定的な回答をしている児童が多いものの、一部の児童は意識できておらず、なかなか定着できていない。 <p>取組内容③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校行事やたてわり班活動など、異学年交流を行うことができている。 ・「いいところみつめ」では、お互いの良いところを伝えたり、「いいところみつめ」のカードに記入したりすることができる。 ・個別の教育支援計画と個別の指導計画を作成、毎学期見直し、内容を保護者と共有することができる。 <p>取組内容④</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な体験学習を計画的に行うことができおり、キャリア教育につなげることができる。 ・年間計画表に沿ってキャリア・パスポートを活用し、児童が自己を振り返る機会を設けている。 	

後期への改善点
<p>取組内容①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スクリーニングシートを作成し、効果的に活用する。 <p>取組内容②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活目標を玄関ホール等に掲示して継続指導していく。 <p>取組内容③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「いいところみつけ」コーナーを継続して行う。

大阪市立九条東小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>○ 小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.01ポイント向上させる。</p> <p>○ 小学校学力経年調査における、算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.01ポイント向上させる。</p> <p>○ 小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。 R8 校内前期 94% (R7 経年: 86.4%)</p>	B
年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容① 【(4) 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>○ 児童が「わかった・できた」を実感できるような授業づくりをする。</p> <p>○ 話し合いを通して自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができるように授業展開を工夫する。</p> <p>○ 東っこタイムを活用し、基礎学力の定着に努める。</p> <p>○ 外国語活動・英語学習では、C-NETや外部講師と協働し、授業を工夫する。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>○ 小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対大阪市比を上回るようにする。</p> <p>○ 小学校学力経年調査や校内児童アンケートにおける「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。 R8 経年 % R8 校内前期 91% (R8 新設問)</p> <p>○ 校内児童アンケートにおける「国語の授業の内容はよくわかりますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。 R8 校内前期 94% (R7 経年: 83.6%) (R8 校内新設問)</p> <p>○ 校内児童アンケートにおける「算数の授業の内容はよくわかりますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。 R8 校内前期 91% (R7 経年: 86.1%) (R8 校内新設問)</p> <p>○ 東っこタイムで、視写、漢字、計算に取り組む。また、「東っこ学期末漢字テスト」を年間3回実施し、正答率8割以上の児童を80%以上にする。 R7 1学期 94% 2学期 87% 3学期 87% R8 1学期 77% 2学期 % 3学期 %</p> <p>○ 小学校学力経年調査における「外国語(英語)の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。 R8 校内 100% (R7 経年: 87.5%)</p>	C

<p>取組内容②【基本的（５）健やかな体の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 児童が積極的に体力・運動能力の向上に取り組めるように「体力テスト記録用紙」を活用し、保護者とも情報共有する。 ○ 体育の指導を工夫・改善するとともに、楽しく体力を高める場や機会を設定する。 ○ 放課後の遊びや室内遊び等を通して、運動に親しむ資質や能力を育成する。 ○ 健康週間を設け、手洗い・うがい・歯みがきの習慣を身につけさせる。 ○ 年間指導計画をもとに「食に関する指導」を行い、好ききらいなくバランスよく食べる習慣を身につけさせる。 ○ 各種たよりを年間通じて発行する。 ○ H P と校内掲示での食育・給食・保健関係の情報発信を昨年度と同様に行う。 <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学級遊びやたてわり班遊び、全校遊び等で週１回以上体を動かす機会を設定する。 ○ 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を８５％以上にする。 R8 校内前期 94%（R7 経年：86.4%） ○ 校内児童アンケートにおける「自分の健康（手洗い・うがい・歯みがき・姿勢など）に気をつけていますか」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を９０％以上にする。 R8 校内前期 97%（R7 校内：95%） ○ 校内児童アンケートにおける「給食を楽しく食べていますか。」に対して、児童の肯定的な回答の割合を９０％以上にする。 R8 校内前期 100%（R7 校内：96%） ○ 各種たより（保健だより・給食だより）を月１回発行する。 ○ H P と校内掲示等を活用し、タイムリーな食育・給食・保健関係の情報を発信する。 	B
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
<p>取組内容①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少人数の特性を生かしたきめ細やかな指導を行い、児童一人一人が「できた・わかった」という達成感を味わえる授業づくりを推進している。 ・授業においては、ICT 機器の効果的な活用や展開の工夫を図るとともに、意図的に話し合い活動を取り入れることで、自分の考えを深めたり多様な視点に気付いたりできるよう努めている。 ・基礎基本の確実な定着に向けては、計画的な「東っこタイム」の実施や「東っこ学期末漢字テスト」に取り組んでいる。多くの児童が目標に向かって意欲的に学習に取り組み、各種アンケート等においても概ね良好な結果が得られている。しかし、１学期の漢字テストにおける平均正答率は目標値である 80%に届かず、課題が残った。 ・外国語教育においては、今年度導入した英語専科制により、専門性の高い授業の実現が可能となった。C-NET との協働のもと、歌やチャンツ、アクティビティ等を効果的に取り入れることで、児童が楽しみながらコミュニケーション能力を伸ばしていける学習環境の充実に努めている。 <p>取組内容②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体力向上においては、低・中学年への体育専科制の導入により、児童が楽しみながら運動に取り組める質の高い授業づくりが定着した。 	

- ・「体力テスト記録用紙」を活用した振り返りにより、自己の課題を認識して自主的に体力向上を図る姿が見られる。
- ・昨年度から継続しているたてわり班活動、今年度より導入した全校遊び、放課後遊びの内容の刷新により運動に親しむ機会が増加したほか、天候不良時にはけんこう委員会作成のダンス動画を活用するなど工夫を図った。
- ・保健、衛生指導面では、学期ごとの「健康週間」の設置や養護教諭による啓発活動を通じ、手洗いやうがい、歯みがき、姿勢の保持といった基本的生活習慣の定着が進んでいる。
- ・食育においては、年間指導計画に基づく授業に加え、毎日の給食時における児童が作成する食育クイズ等のアプローチが非常に効果を上げている。三色食品群をはじめとする栄養知識の定着にとどまらず、食材や調理法への関心が高まり、苦手な食べ物にも意欲的に取り組む姿が見られる。
- ・「保健だより」「給食だより」の毎月発行や校内掲示にて各種取組について情報発信している。
- ・ホームページでの毎日の献立紹介等を継続しており、児童のみならず保護者への情報発信と啓発に関しても計画通り推進できている。

後期への改善点

取組内容①

- ・東っこ学期末漢字テストで、結果に応じて表彰状を作成するなどして、児童のモチベーションアップを図る。

大阪府立九条東小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】 ○ 小学校学力経年調査における「学習者用端末を活用して、調べた情報をもとに、課題を解決するために情報を収集・整理し、まとめ・表現する取組をしていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。 ○ 教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を月20時間以下とする。 R8: 9月末 13時間 41分 (R7: 3月末 15時間 40分)	B
年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容① 【(6) 教育DX (デジタルトランスフォーメーション) の推進】 ○ 教育情報利用パソコンなど、ICT機器を毎日活用する。 ○ ICT機器を効果的に活用する授業を展開する。 ○ タイピング検定を実施する。 ----- 指標 ○ 「心の天気」や「navi ma」等を日常的に活用する。 ○ 各学年のICT到達目標に応じてICTスキルを向上させる。 ○ ICT機器を活用し、調べ学習や発表資料の作成等を行う。 ○ 校内児童アンケートにおける「授業で学習者用端末を週にどの程度使用しましたか」に対して週3回以上と回答する児童の割合を80%以上にする。 R8 前期 97% (R8 校内新設問) ○ 小学校学力経年調査における「学習者用端末を活用して、自分の考えや意見を伝えたり、友だちと共有したり比べたりしていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。 R8 % (R8 経年新設問) ○ 学期に1回ずつタイピング検定を実施して、タイピング能力を向上させる。	B
取組内容② 【(7) 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 ○ 週に1回「ゆとりの日」を設定し、教職員の働き方改革を推進する。 ----- 指標 ○ 学校全体の教員の平均時間外勤務時間を20時間以内にする。 R8: 9月末 13時間 41分 (R7: 3月末 15時間 40分)	A
取組内容③ 【(7) 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 ○ 「ティーチング・エンパワーメント事業」の活用と主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に取り組む。 ----- 指標 ○ 全ての教員が、年間1回以上の研究授業または公開授業を計画的に実施する。 ○ メンター研修を年10回実施し、若手教員の指導力・授業力等の向上を目指す。 R8 9月末 4回	B

<p>取組内容④【(8) 生涯学習の支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学校図書館を活用した調べ学習や読書活動の活性化を図る。 ○ 児童が本に親しむことができる環境を整える。 ○ ブックトラックの運用や「こども新聞」の掲示等、言語環境を充実させる。 <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 校内児童アンケートにおける「読書は好きですか」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を75%以上にする。 <p style="text-align: center;">R8 前期 88% (R7 校内: 88%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 図書の年間貸出冊数について、前年度の実績を維持する。 <p style="text-align: center;">R8 4～8月 34.8冊 (R7: 4～8月 29.3冊) (R7: 4～2月 67.7冊)</p>	B
<p>取組内容⑤【(9) 家庭・地域等と連携・協働した教育の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学校ホームページや保護者メールを活用し、保護者や地域に向けて積極的に情報発信・情報共有を行う。 ○ 学校協議会を定期的に開催し、積極的な協議を行い、学校運営に反映させる。 ○ 保護者向けに「家庭学習の手引き」を配付し、家庭学習の定着を図る。 <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 課業中は、学校ホームページの更新を毎日2回以上行う。 ○ 学校協議会を年3回開催し、協議内容を学校運営に積極的に反映させる。 ○ 「家庭学習の手引き」を毎年1回配付し、保護者の意識を向上させる。配付済 	B
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
<p>取組内容①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校内研究を中心に ICT 機器を効果的に活用した授業づくりを推進している。定期的な ICT 研修の実施や教員間での実践事例の共有を積極的行った結果、教員の指導力が向上し、授業における教育情報利用パソコンの使用率が大きく伸びた。 ・「心の天気」を用いた心身の健康状態の把握や、「navima」などのデジタル教材を活用した個別最適な学びが定着している。さらに、ICT 機器を活用して自分の考えを共有・発信する活動を通して、児童の ICT スキルや協働的に学ぶ力の向上が図られている。 ・児童の基礎的な情報活用能力を養う取り組みとして、月1回の「タイピング検定」を計画通り実施している。検定に際して表彰の機会を設けることで、児童の達成感や学習意欲を高めることができ、主体的にタイピング練習に取り組む姿勢が定着している。 <p>取組内容②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校内における各種業務の連携・共有体制を強化し、業務の効率化を図った結果、教員の時間外勤務時間について指標の20時間以内を達成することができている。また、週1回の「ゆとりの日」を設定・定着させることで、教職員の健康維持と意識改革を進めている。 <p>取組内容③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員の資質向上および指導力の改善に向けた取組については、年間計画に沿って着実に実施することができている。 ・今年度も全教員が研究授業または公開授業の実施を予定しており、相互に授業を参観し合うことで指導スキルの向上や多様な指導法の共有につながっている。 ・年間10回を計画しているメンター研修を通して、若手教員への助言・支援のみならず、中堅・ベテラン教員も含めて共に学び合い、高め合う集団作りが進んでいる。 	

取組内容④

- ・児童の読書活動の推進および読書習慣の定着に向け、計画的な取組を実施している。
- ・夏季休業前には、従来の貸出上限を設けず借りられるよう制度を改善したことで、長期休業中に積極的に読書に親しむ児童が増加し、年間の総貸出冊数の向上に大きく寄与した。
- ・図書委員会を中心に「読書の木」の取組や「図書だより」の発行、児童集会での絵本の読み聞かせや発表を実施した。児童が主体となって読書の魅力を発信する機会を設けたことで、全校で読書に対する関心や意欲が高まっている。

取組内容⑤

- ・保護者や地域との連携強化および家庭学習の充実を図る取組について、年間計画に沿って計画通り実施することができている。
- ・学校ホームページの毎日定期的な更新に努め、児童の日々の学習や生活の様子をタイムリーに届けることで、開かれた学校づくりを推進している。特に給食内容については毎日情報を更新し、食育に関する取組を公開している。
- ・家庭との連携面においては、「家庭学習の手引き」の配付にとどまらず、保護者懇談会等の場で直接触れながら説明を行った。学校と家庭が一体となって基本的な生活・学習習慣の定着を支援する協力体制の構築に繋がっている。

後期への改善点

取組内容④

- ・貸出冊数の上限を撤廃し、貸出冊数が増えるように図る。